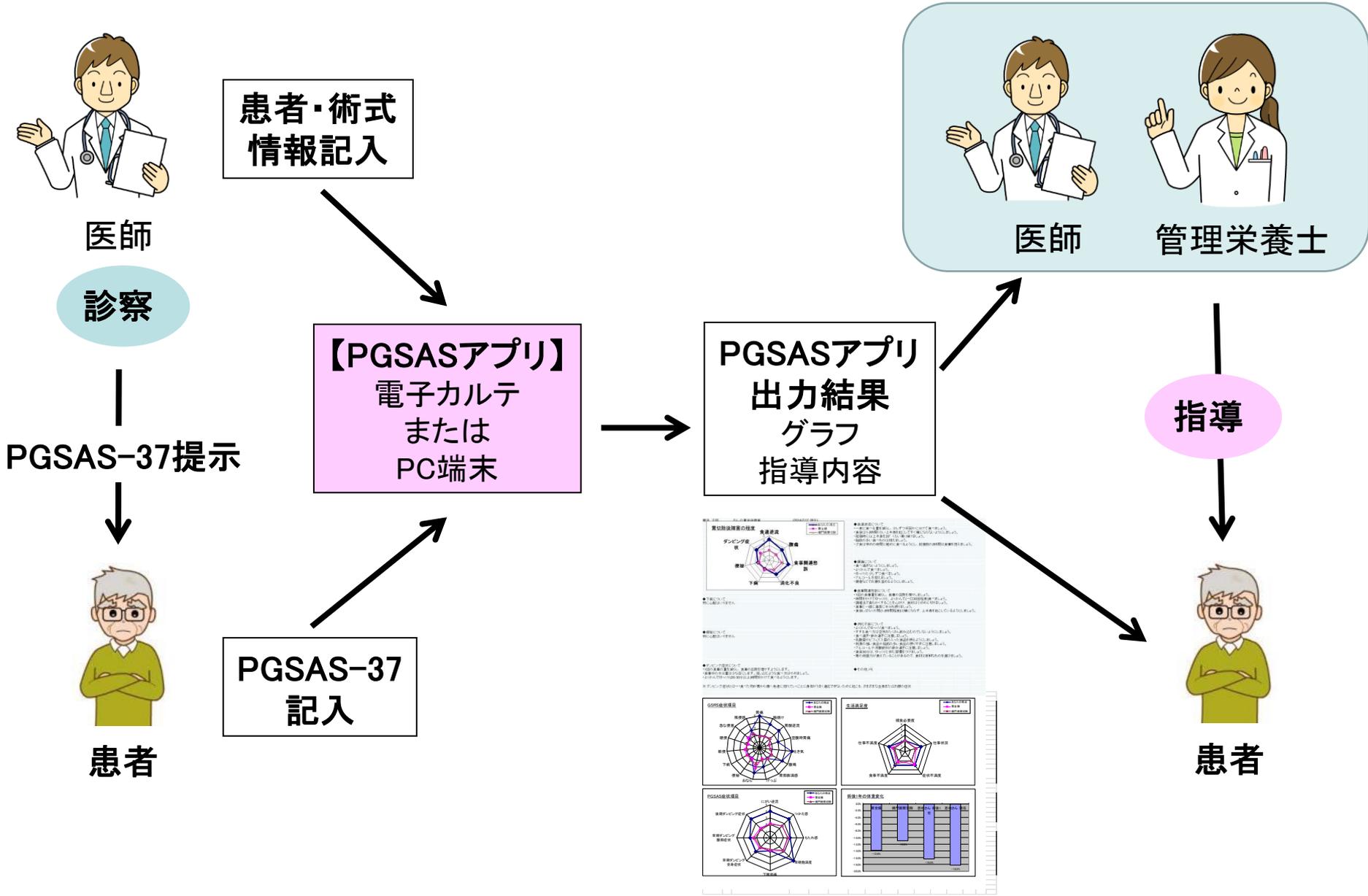


PGSASアプリを用いた胃切除後障害のチーム医療

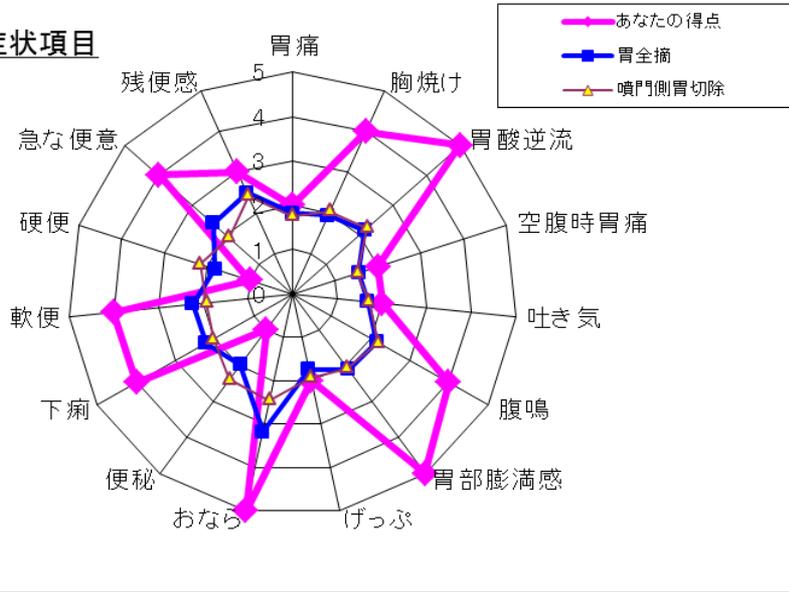


PGSASアプリを用いた胃切除後障害の評価

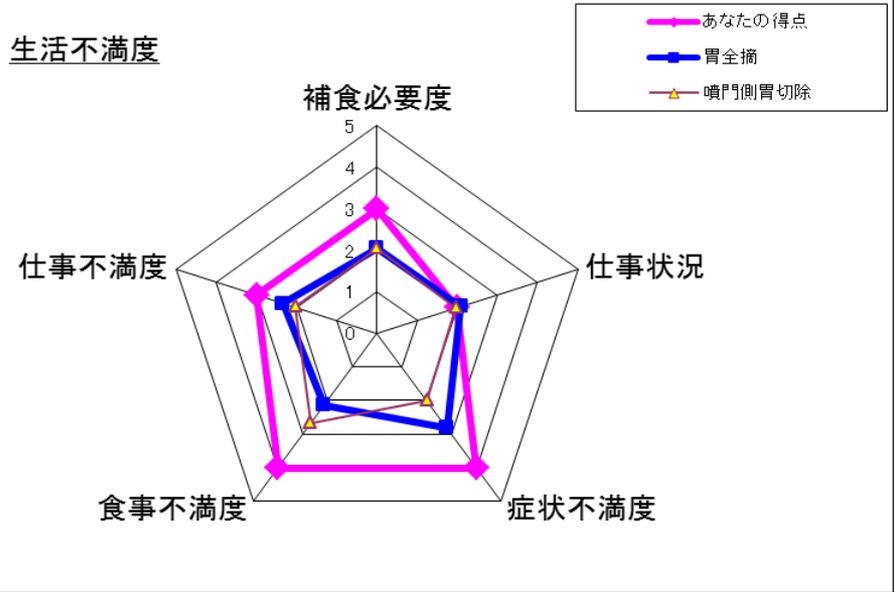
出力用プリントの例(1/2)

【図2】

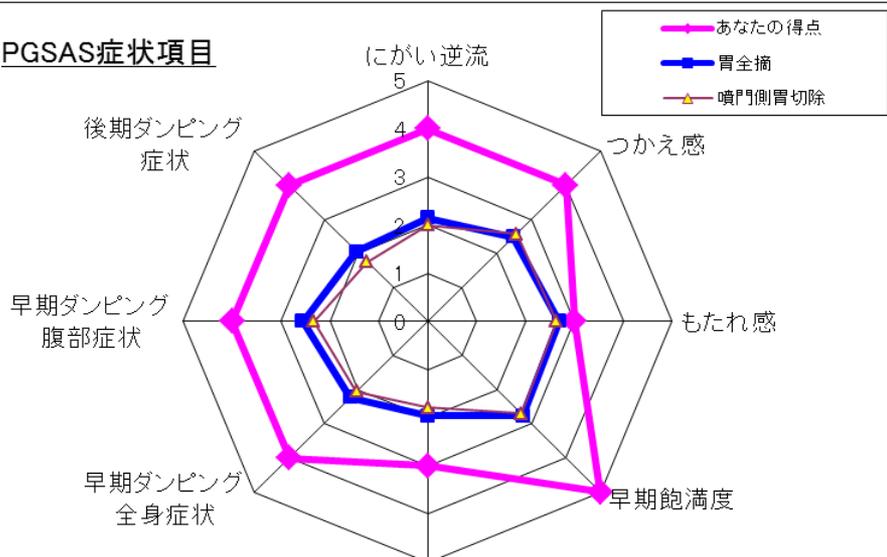
GSRs症状項目



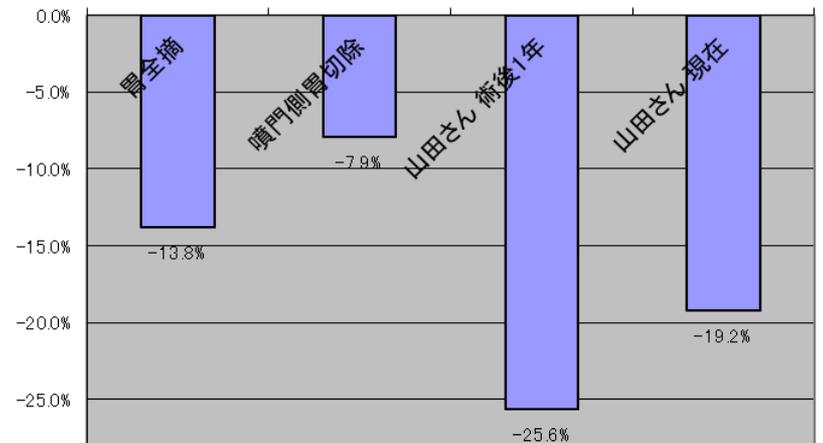
生活不満度



PGSAS症状項目



術後1年の体重変化



PGSASアプリを用いた胃切除後障害の評価と指導内容 出力用プリントの例(2/2)

【図3】

3点以上の下位尺度の指導内容を自動表示

山田 太郎 さんの胃術後障害

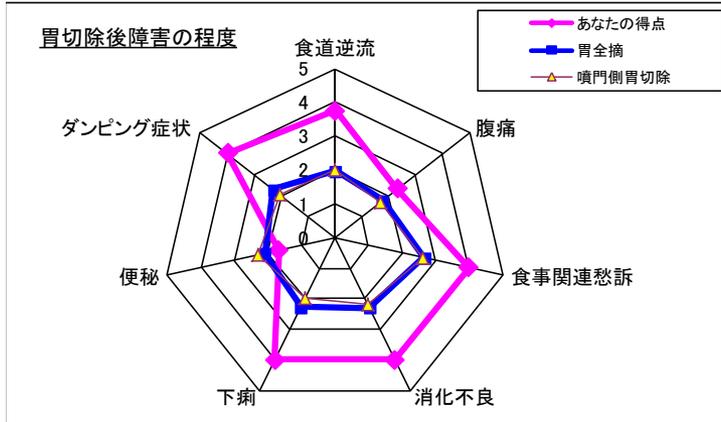
(2015/1/13 現在)

受けた術式

胃全摘

他に比較したい術式

噴門側胃切除



あなたのPGSAS全体症状スコアは 3.39 点です。

◆下痢について

- 原因となる食物や飲料を避け、消化のよいものを摂りましょう。
- 生ものは新鮮なものを摂りましょう。
- ゆっくり食べましょう。
- 1回の食事を減らし、食事の回数を増やしましょう。
- 腸内の環境をととのえる食品(乳酸菌やビフィズス菌などの入ったヨーグルト、オリゴ糖)を摂りましょう。

◆便秘について

特に心配はいりません

◆ダンピング症状について

- 1回の食事の量を減らし、食事の回数を増やすようにします。
- 食事中的水分量は少な目にします。流し込むような食べ方はやめましょう。
- よくかんでゆっくり(20-30分以上)時間をかけて食べるようにします。

※ ダンピング症状とは・・・食べた物が胃から腸へ急速に流れていくことに身体がうまく適応できないために起こる、さまざまな全身またはお腹の症状

◆食道逆流について

- 一度に食べる量を減らし、少しずつ何回かに分けて食べましょう。
- 食後は1-2時間くらい上半身を起こしてすぐ横にならないようにしましょう。
- 就寝時には上半身を20° くらい高く傾けましょう。
- 脂肪の多い食べものは控えましょう。
- 夕食は早めの時間に軽めに食べるようにし、就寝前の2時間は食事を控えましょう。

◆腹痛について

特に心配はいりません

◆食事関連愁訴について

- 1回の食事を減らし、食事の回数を増やしましょう。
- 時間をかけてゆっくりと、よくかんで(一口30回程度)食べましょう。
- 調理法で柔らかくすることを心がけ、食材は小さめに切りましょう。
- 食事と一緒に適度に水分も摂りましょう。
- 食後しばらくの間(1-2時間程度)は横にならず、上半身を起こしているようにしましょう。

◆消化不良について

- よくかんでゆっくり食べましょう。
- すする食べ方は空気をたくさん飲み込むのでないようにしましょう。
- 食べ過ぎ・飲み過ぎに注意しましょう。
- 乳酸菌やビフィズス菌の入った食品を摂るようにしましょう。
- 刺激の強い食品や脂肪の多い食品の摂りすぎに注意しましょう。
- アルコールや炭酸飲料の飲み過ぎに注意しましょう。
- 食後30分は、ゆっくりと休む習慣をつけましょう。
- 胃の殺菌力が衰えていることがあるので、食材は新鮮なものを選びましょう。

◆その他 メモ